

## 第197回臨時国会

与党代表質問で露呈した 安倍政権の国民に対する**虚構**

10月24日、第197回臨時国会が召集され、初日には、安倍首相の所信表明演説と麻生大臣の財政演説がおこなわれました。

翌週29日には、立憲民主党、自民党、国民民主党の代表質問が行われたのですが、自民党の代表質問において、衝撃の発言が飛び出しました。稲田議員の、「わが国の社会保障制度を維持し、全世代型社会保障制度に発展させていく」ために「高齢者に(社会保障の受け手から)支え手の側に回ってもらうといった視点での改革が不可欠」に対し、安倍総理が「高齢者の皆さんが年齢にかかわらず学び働くことができる環境を整えることが必要」「70歳までの就業機会の確保」などに向けた検討を開始している、と答えたのです。

「**全世代型社会保障**」の本当の意味

「全世代型社会保障制度」ちょっと聞いただけだと、生まれてから死ぬまで国が面倒を見てくれる、素晴らしい制度のように聞こえるかもしれません。

しかしこれは、「**高齢者であっても働ける限りは働いてもらいます。約束した年金は働けなくなった時にしか払いません**」という宣言です。それを、全世代型社会保障という耳障りのいい言葉でくるんで、平然と、与党代表質問とそれに答える総理答弁という、非常に姑息なやり方で宣言しているわけです。

かつて60歳だった年金支給年齢は、今65歳に引き上げられています。そして、今、65歳まで年金保険料を納めればよいとされているものを、今度は70歳まで納めなければいけないと言っているのです。そうなったら、一体皆さんは何年、年金を受け取れるのでしょうか。それも、このようなやり方

が続いていけば、70歳と言われていたものがやがて75歳になり、80歳になることも十分にあり得る話です。

我々は、年金を今受け取っている方たちのために一生懸命払い、**自分自身は死ぬまで年金を受け取れない**、そういう時代を迎えようとしているのです。

## 死ぬまで年金を受け取れない？

本来であれば、国民の将来設計、人生設計を大きく崩してしまうことになるこの問題について、総理大臣が謝罪して然るべきところですが、安倍総理、そして政府与党は、全世代型社会保障という美辞麗句を並べ、あたかも自分たちが素晴らしい政策をとっているかのように誤魔化しているのです。そして、マスコミもほとんどこれを報道しません。

私は、与党や安倍総理は、こうやって小出しにして、皆さんやマスコミの反応を見ていると思います。こういうことに対して国民はもっと怒っていい。抗議のうねりが日本中を覆い尽くしてもいいはずですが、抗議の意思を示さなければやらねばなしです。決まってしまうからでは遅いのです。

「**憲法9条改正**」に関する大きな嘘

また、やはりこれも稲田議員の質問に答える形で、憲法9条について重要な答弁がありました。

稲田議員は、防衛大臣だったときに、南スーダンに派遣されていた自衛隊員の方々について触れ、50度を越える炎天下で汗をかき、社会資本を作り、現地の方や世界から尊敬を集めた、そういう方々を違憲だなどと言わせてはならない、そのためにも憲法改正は急務である、と主張。これに対し安倍総理は「自衛隊は合憲と言い切る憲法学者は2割に

Member of the House of Representatives

Masayuki Aoyama

## 青山まさゆき通信

発行者：青山まさゆき後援会  
第3号【2018年11月発行】

〒420-0858 静岡市葵区伝馬町 10-44 1階  
電話 054-273-5070 FAX054-273-5080



とどまる」と答えました。これは大きな嘘です。

今、安倍総理が行おうとしていることは、「自衛隊が憲法9条に違反すると多くの憲法学者が言っている」という、ありもしない話をいわばでっち上げ、自衛隊の方々がかわいそうだから憲法9条を変えるのだ、という、感情論に訴えるような議論での誤魔化しです。しかし真の狙いは違います。アメリカの世界戦略にのっとり、日本をアメリカの軍事上の補完勢力としていくための一環が、先の安保法制の制定であり、憲法9条の改正なのです。

## 美辞麗句の裏にある真実を

これについて、政府が国民に、真にそういった狙い、目的、国の在り方を説明し、国の安全保障をからめた議論が行われるということであれば、憲法9条が改正の俎上に乗せられることはあり得る話だと思っています。

しかし、今、安倍政権は、本当の狙いを押し隠し、「自衛隊員がかわいそうだから」という感情的かつ不正確な理屈で、憲法9条の改正を推し進めようとしているのです。

これは、先ほどの全世代型社会保障の問題と同じです。

今の日本の財政状況を正面から見ると、確かに、安倍首相が言っているように、年金の支給年齢を引き上げたり、高齢者にも働いてもらう必要があるのかもしれませんが、子

育て中の女性であっても働いてもらわなければ労働力が不足しているという現実も確かにあるでしょう。

しかしながら、もしそういうことを訴えるのであれば、「一億総活躍社会」「女性活躍推進」「全世代型社会保障」などという美辞麗句を並べ立てるのではなく、正面から、不都合な事実も含めて国民に現実を説明した上で、信を問うべきです。良いことも悪いこともつまびらかにした上で、骨太の議論を戦わせ、決めていくべきです。今の政府与党のように、国民に対して正確な説明もせず、重大な問題について言葉でごまかして、なし崩し的に本当に重要な改革、改悪を進めていく。それこそが今の政治の一番の問題点だと私は思います。

皆さんが気付かない内に、社会制度の変革が次々と行われようとしています。しかし、残念ながら政治について報道がなされる時、わかりやすい政争の具、スキャンダルにばかり注目が集まってしまうのも現実です。

真実が隠され、誰も声を上げない、こんなことがいつまでも続けば、日本の社会は徹底的に破壊しつくされてしまいます。日本の政治は変わっていかねばならない。

皆さんはぜひ、政治に興味を持っていただきたい。美辞麗句の裏にある真実から目を背けないでいただきたい。皆さんが知らない間に、美味しい言葉の陰で、今、世の中が大きく変えられようとしています。

### !!募集しています!!

事務所内での軽作業（郵便物発送準備、ポスター裏貼りなど）のボランティアをしてくださる方

- ご自宅やお勤め先などに、青山まさゆきのポスターの掲示をさせていただける方（静岡市葵区、駿河区）
  - 青山まさゆきを囲むミニ集会を開きたい！青山まさゆきの話をもっと聞きたい！という方
- ご協力いただける方、ご要望、お問合せなどは、青山まさゆき後援会（櫻井）まで！！

### 東京事務所だより

秋の臨時国会が始まりました。

閉会中は閑散としている議員会館ですが、10月中旬ころからにわかには活気づき、臨時国会が始まってからは、議員の先生方や秘書の方々、来訪者の方々などがせわしなく行き来しています。

ところで、本会議が開催される日は、本会議開始10分前と開催時間に全会館内にベルが鳴ります。これが非常ベルのようなけたたましさで、最初に聞いた時には火事でも起こったのかと相当驚いたのですが、先日の臨時国会初日、久しぶりにこのベルを聞いたときには、なんだか懐かしいような気持ちになりました。

東京事務所にも慣れてきたのかなと、少しうれしい気持ちです。

東京事務所 秘書 石神恵美子

■ 静岡事務所（青山まさゆき後援会）  
静岡市葵区伝馬町10-44  
TEL054-273-5070 FAX054-273-5080

■ 東京事務所（国会事務所）  
千代田区永田町2-1-2 衆議院第二議員会館320号  
TEL03-3508-7503 FAX03-3508-3933

■ 青山まさゆきの活動や、街頭演説でお話しさせていただいた内容はホームページやフェイスブックにも随時掲載しています。下記URLまたは右のQRコードからアクセスしてご覧ください。

公式ホームページ <https://www.aoyama-masayuki.com/>  
フェイスブック <https://www.facebook.com/m.aoyama.kouenkai/>  
ツイッター @my\_fc1

